



地元の声 ～農業農村整備の効果～

農地防災

事業名：農村地域防災減災事業
（農業用河川工作物応急対策事業）
地区名：栗村堰（くりむらぜき）地区
所在地：福島県河沼郡会津美里町
事業概要：頭首工改修 1箇所
（受益面積 211.8ha）
（想定被害面積 77.6ha）



事業内容

固定堰（コンクリート堰）から
全面可動堰（ゴム堰）への改築

→ 周辺農地等への越水被害防止、
取水操作の省力化



整備前（固定堰）



周辺農地の越水被害



整備後
（可動堰）

地元の声（生産者や施設管理者へ取材）

会津宮川土地改良区 事務課長 酒井靖隆氏（施設管理者）

事業の効果

- ・改修前は土砂吐ゲートが手動式のスピンドルゲートであったため、稼働に時間と労力がかかり、大変不便であったほか、構造的に操作位置が高い位置にあったため、ゲート類の除塵作業が不可能であった。
- ・除塵等の維持管理に要する時間が格段に減り、取水にかかる経費削減に繋がった。
- ・新たにスクリーンが設置され、頭首工での除塵が可能になったことから、用水路へのゴミ等の流入が減り、農地への水の行き渡り方や取水のし易さが向上した。
- ・豪雨時は、中央管理所からの遠隔制御が可能になり、豪雨時でも安全かつ迅速に取水を停止することができるようになったため、安心感が増した。
- ・可動堰になったことから堰上流部に土砂が堆積することがなくなった。

項目	事業前	事業実施後	効果
取水ゲート操作	2.0hr/回	0.4hr/回	80%削減



労力軽減のほか、管理者の精神的負担の軽減にも
つながっている！

課題や要望

- ・将来的にゲート故障及び異常復旧にかかる救済事業を拡充してほしい。
- ・固定堰から可動堰になったことから、メンテナンス費用及び電気料金、その他通信料金等は新たに負担が発生する部分もあった。



中央管理所の
遠隔操作システム